東京電	力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の分布状況等調査	施策番号076	
福島復	関興再生基本方針における該当箇所	府省庁名	
頁	48	原子力規制庁	
章	第3	/示 コークス が元 中リ)」	
節	2	作成年月	
項	(6)	平成25年5月	
目	2	十成23年5月	
予算措置の状況			

【平成25年度】

放射性物質環境汚染状況監視等調査研究費 3,174百万円の内数(1,243百万円)【復興特会】

施策の内容

事故の全体像を把握するため、空間線量率の分布状況、地表面への様々な放射性物質の沈着状況を確認するとともに、陸域の様々な環境における放射性物質の移行状況調査を継続的に実施し、空間線量率マップ、土壌濃度マップの作成、及び様々な環境における放射性物質の移行状況を解明するための調査研究を実施する。

施策の進捗状況及び今後の予定

〇平成23年6月から第一次調査を平成23年度科学技術戦略推進費により実施し、その結果については とりまとめて公表したところ。現在、第二次調査を平成23年度補正予算により実施しており、とりまとまっ た結果を順次公表している状況である。

〇これらに続き、平成24年度予算により、第三次調査として、空間線量率測定及び土壌への放射性物質の沈着量の詳細調査及び調査箇所周辺の環境における放射性物質の動態挙動の詳細調査を実施することとしている。

水生生	上物中の放射性物質の挙動等の解明	施策番号077
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	48	農林水産省
章	第3	長 你 小 庄 自
節	2	作成年月
項	(6)	平成25年5月
目	2	十成23年5月

予算措置の状況

【平成25年度】

・海洋生態系の放射性物質挙動調査事業 190百万円【復興特会】

施策の内容

○被災地の沿岸・沖合水域において、食物連鎖等を通じた放射性物質の濃縮の過程等の挙動を明らかにするための科学的な調査を実施。

施策の進捗状況及び今後の予定

- ○被災地の沿岸・沖合水域において、食物連鎖等を通じた放射性物質の濃縮の過程等の挙動を明らかにするための科学的な調査を実施。
- 〇今後、海水、海底土等の環境試料を含む様々な試料の放射性物質濃度の分析、海流等の把握、更には飼育実験等を行い、これらを総合的に解析することによって、水生生物中の放射性物質の挙動とその要因を明らかにする予定。